

研究者：大久保 光（所属：新潟大学医歯学総合研究科）

研究題目：製造業事業所就業者におけるかかりつけ歯科医の有無と現在歯数の関連

目的：

近年、かかりつけ歯科医がある人は歯の健康維持が良好であるとする報告が多く認められる。しかし、働く世代では多忙を理由に歯科受診が敬遠され、就労が不規則な製造業はさらに受診の機会が少なくなる。このため、製造業職域での歯科保健対策の充実は特に不可欠である。本研究は、製造業就業者におけるかかりつけ歯科医の有無が現在歯数に及ぼす影響について着目し、職域において喪失歯対策を推進する指針を得ることを目的とした。

対象および方法：

本研究の対象は、富山県にある製造業事業所において、2023年度歯科健診に参加し健診データ活用に同意した19歳から75歳の従業員の内、データ欠損の無い5,640名である。かかりつけ歯科医の有無については口腔健康行動に関する質問票用紙のうち「かかりつけ歯科医に定期的に受診していますか」の質問から回答を得た。歯牙状態として現在歯数を記録し智歯は除外し集計した。解析には統計解析ソフト IBM SPSS ver. 29.0.1.0 を用いて、参加者の年齢、性別、現在歯数、かかりつけ歯科医の有無について基礎集計を行った後、かかりつけ歯科医の有無と現在歯数について t 検定を行った。

結果および考察：

対象者の基礎特性を表1に示す。対象者は全体で5,640名、そのうち男性が4,046名と全体の71.7%を占めていた。平均年齢は 39.92 ± 12.59 歳、平均現在歯数 27.07 ± 2.30 本であった。かかりつけ歯科医が「ある」と答えた者は1,899名、「ない」と答えた者は3,741名で、対象者の過半数がかかりつけ歯科医がない状態であった。

表1 対象者の基礎特性 (n=5640)

		人数	割合	平均値	標準偏差
性別	男性	4046	71.70%		
	女性	1594	28.30%		
年齢				39.92	12.59
現在歯数				27.07	2.30
かかりつけ歯科医	あり	1899	33.70%		
	なし	3741	66.30%		

表2にかかりつけ歯科医の有無と現在歯数のt検定を行った結果を示す。かかりつけ歯科医が「ある」と答えた者の平均現在歯数は26.91 ± 2.243本、「ない」と答えた者の平均現在歯数は27.15 ± 2.33本であった。かかりつけ歯科医がない者の平均現在歯数が有意に多かった。

表2 かかりつけ歯科医の有無と現在歯数

	あり		なし		p 値
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
現在歯数	26.91	2.24	27.15	2.33	< .001

今回の調査では、かかりつけ歯科医がない者の現在歯数がより多く残っているが、これは年齢、性別や社会経済学的因子などが影響している可能性も考えられる。高齢者を対象とした調査では、現在歯数が20本以下であることとかかりつけ歯科医がないことが関連要因として挙げられている（中山ら、2011）。現在歯数の調査では年齢が影響する可能性があるため、今後は年代別のさらなる検討が必要である。

成果発表：（予定を含めて口頭発表、学術雑誌など）

- ・ International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment（国際学会）にて口頭発表予定（2024年5月）。